

# お告げのマリア修道会

## まごころ会

2024年2月

Tel.095-846-8300



QRコードから  
アクセスして  
下さい

『わたしは主のはしたためです。

お言葉どおり、この身になりますように。』

### 日本二十六聖人殉教祭



今年も2月5日が巡ってきます。長崎にいるところの「日本二十六聖人殉教祭」と3月17日の「日本の信徒発見の聖母」の祝日には、自分が受け継いだ信仰について振り返る時をいただきます。私たちの今会期のサブテーマ「霊的遺産を携えてともに沖へ漕ぎ出そう」にも通じることです。

豊臣秀吉は、1587年にキリシタン禁教令を發布しました。それでもこの時の禁教令は比較的ゆるやかなものでしたが、1596年、スペインのサンフェリペ号の土佐沖漂着などを機に、キリスト教の弾圧が強化されていきました。

京都奉行・石田三成は、京に住むキリスト教徒24名を捕縛し、秀吉の命で左の耳たぶを切り落とし、市中引き回しに。さらに徒歩で長崎へと護送され、道中で付添の2名も捕縛されて、合計26名が西坂の丘の上で処刑され、殉教しました。(日本人20名、スペイン人4名、メキシコ人1名、ポルトガル人1名)。

### 日本二十六聖人殉教祭



2024年  
場所:西坂公園 (至福の丘)  
※雨天時は中町教会  
殉教記念ミサ14時~  
主催:カトリック長崎大司教区 担当:長崎南地区評議会



遺骸は日本で最初の殉教者の遺骸として世界各地に送られて崇敬を受け、1862年6月8日、ローマ教皇ピウス9世によって列聖され、聖人の列に加えられました。昭和25年には、西坂の丘をローマ教皇・ピオ十二世が、カトリック教徒の公式巡礼地と定められました。

昭和37年、列聖から100年目に、西坂の丘は公園として整備され、二十六聖人等身大のブロンズ像(船越保武氏制作)をはめ込んだ日本二十六聖人記念碑「昇天のいのり」と「日本二十六聖人記念館」が建てられました。記念碑には詩編117「すべての国よ、主を賛美せよ。すべての民よ、主をほめたたえよ。主の慈しみとまこととはとこしえに わたしたちをこえて力強い。ハレルヤ」とマルコ福音書8章34節「わたしはの後に従いたいものは、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」が刻まれています。同時に、フィリッポ(殉教者の一人の名前)教会もメキシコから寄せられた寄付をもとに建築されました。

西坂の丘は、今も、多くの人が訪れ、祈りを捧げる大切な場所です。2月14日は「灰の水曜日」、四旬節が始まります。主の十字架と受難、苦しんでいる方々に思いを寄せ、祈りのうちに過ごすごうことができますように。

まごころ会会員帰天、お祈りください

・フランシスコ 赤窄 義男 楠原教会